

にぎわい

東北版

Vol.127

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

平成21年2月

目次

「能代港利活用推進シンポジウム」開催（秋田県能代市）	1
「酒田日本海寒鱈まつり」（山形県酒田市）	2
東北のイベント紹介	2



秋田県

秋田県能代市

「能代港利活用推進シンポジウム」開催

～能代港を核とした秋田県北部地域の活性化に向けて～

平成20年11月17日(月)、能代市において、「能代港利活用推進シンポジウム(主催:能代市、共催:能代港湾振興会)」が開催されました。

はじめに主催者挨拶で齊藤滋宣能代市長が「能代港を核として秋田県北部エコタウン計画を推進し、県北地域を活性化していきたい。今日がそのスタートの日」と、地域の振興に向けた強い意志を表明されました。

国土交通省港湾局福田功国際・環境課長より来賓挨拶があり、引き続き、講演では、秋田大学吉村昇学長から「秋田を元気にするためには、産学官民が適切に役割分担し、連携し合うことが重要。」と、今後の地域づくりに向けた前向きな提言があり、川口博 小坂町長からは「地域にあるものを最大限に利用することが重要。鉱山技術を活用してのリサイクル産業の振興を図っているが、そのためには日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通と、アジアと秋田県北部地域を繋ぐリサイクルポート能代港の整備、利活用が必要。」と、地域振興方策や能代港への期待などが述べられました。

酒田港女みなと会議小山恵子事務局長らを加えたパネルディスカッションでは5人のパネリストからそれぞれ意見があり、能代商工会議所 広幡信悦会頭からは、リサイクル資源保管施設(循環資源取扱支援施設)整備に係る取組みが紹介され、参加した市民、企業関係者からは、これらの取組みへ大いに期待する声が聞かれました。

このシンポジウムが一つの契機になり、リサイクルポート能代港を核とした秋田県北部地域の産業振興、活性化がさらに推進されることが期待されます。



パネルディスカッションの様子



山形県酒田市

風物詩「寒鱈汁」に舌鼓

「酒田日本海寒鱈まつり」

去る平成21年1月24日(土)と25日(日)の両日、酒田市中心市街地をメインに「第22回酒田日本海寒鱈まつり」が開催されました。

『寒鱈:かんだら』とは、いわゆる真鱈(まだら)のことで、厳冬の時期になると産卵のために回遊してくる、脂たっぷり・丸々と太った鱈を地元では特別に『寒鱈』と呼んでいます。その寒鱈を頭から内臓まで丸ごと鍋にいれ、味噌仕立てで味わうのが「寒鱈汁」(または「どんがら汁」ともいう)といい、冬の庄内地方の風物詩となっております。



その寒鱈汁をメインに行われるこのイベント、当日は雪のちらつくあいにくの天気となりましたが、まつりが開始されると、一杯500円で販売される寒鱈汁を求めて多くの観光客でにぎわい、熱々のどんぶりに白い息を吹きかけながら冬の味覚をほおばっていました。

「みなとオアシス酒田」の『さかた海鮮市場』も会場のひとつとなっており、ここでも寒鱈汁が販売され、多くの観光客がみなとでみかくを堪能されていました。

メイン会場では、寒鱈の解体実演が行われたり、太鼓の演奏や獅子舞演舞などさまざまな催しが行われ、祭りを盛り上げました。



東北のイベント紹介

男鹿市 第46回 なまはげ柴灯まつり

神事「柴灯祭」と民俗行事「なまはげ」を組み合わせた冬の観光イベントです。真山神社境内に焚き上げられた柴灯火のもとで繰り広げられる勇壮で迫力あるなまはげをお楽しみ下さい。

【日 時】: 2月13・14・15日 17:50~
【場 所】: 男鹿市北浦「真山神社」
【お問合せ先】: 男鹿市観光商工課 0185-23-2111
「なまはげ柴灯まつりホームページ」
(<http://sedo.oganavi.com/>)

是非、みなさんお出で下さい!!



【編集・お問い合わせ】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
国土交通省 東北地方整備局
港湾空港部 広報・振興担当
TEL: 022-716-0003 FAX: 022-716-0017
E-mail: info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp